

データでみる福島再生

最近の動き

○福島県内の除染仮置場等の状況

- ・仮置場等総数1,359箇所のうち、540箇所ですべて除去土壌等を保管中、819箇所ですべて搬出が完了し、527箇所の仮置場で原状回復が完了しました。

○中間貯蔵施設の整備の現状

- ・除去土壌の分別処理を行い、7月末時点で、約470万 m^3 （輸送量ベース）の土壌を土壌貯蔵施設に貯蔵しました。
- ・廃棄物の焼却及び焼却灰の灰処理を行い、7月末時点で、灰処理ばいじんを封入した鋼製角形容器1,200個を廃棄物貯蔵施設に貯蔵しました。

○中間貯蔵施設への除去土壌等の輸送の進捗状況

- ・2020年7月末時点で、累積約824万 m^3 （全体の約58.9%）の除去土壌等を中間貯蔵施設へ輸送しました。

○中間貯蔵施設用地の状況

- ・用地取得については、7月末時点で契約者数1,778人、面積約1,185haについて契約しております。

○国直轄による対策地域内廃棄物等の処理進捗状況

- ・災害廃棄物等の仮置場への搬入については、6月末時点で、約272万トンの搬入を完了しました（うち、約48万トンが焼却処理済、約165万トンが再生利用済）。
- ・被災家屋等については、6月末時点で、約16,800件の解体撤去申請を受付済みであり、約15,300件を解体撤去済みです。

○国直轄による対策地域内における仮設焼却施設の設置状況

- ・6月末時点で、約117万トン（除染廃棄物を含む）を各仮設焼却施設で処理しました。

○特定廃棄物埋立処分施設への搬入状況

- ・7月末時点で、134,198袋を特定廃棄物埋立処分施設へ搬入しました。

○放射線に関わるリスクコミュニケーション活動状況 ※

- ・相談員支援センターで、住民セミナー3回、車座意見交換会2回を実施しました。
 - ・環境再生プラザで、専門家派遣を6件、移動展示を1件(1日)を実施しました。
 - ・内部被ばく検査(WBC)を3日間実施しました。
 - ・ガンマカメラを活用し、仮置場の原状回復などの検証(10台日)を実施しました。
- ※いずれも、新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じて実施しました。